

【中学級 1/2】令和6年度都情研実態調査 自閉症・情緒障害特別支援学級（中学校・義務教育学校後期）

1. ブロック

東ブロック 北ブロック 南ブロック
多摩南ブロック 多摩北ブロック

2. 自治体名 記入例：〇〇市 〇〇区 〇〇町 〇〇村

【 _____ 】

3. 学校名（記入例：〇〇市立△△小学校） 【 _____ 立 _____ 】

4. 開設年度（西暦） 【 _____ 】年

5. 設置校の学区域内に居住する在籍児童は何名いますか 【 _____ 】人

<生徒の実態 在籍人数（5月1日認可数）>

6. 1年生の人数 【 _____ 】人

7. 2年生の人数 【 _____ 】人

8. 3年生の人数 【 _____ 】人

<障害別人数>

※都情研調査係による、児童生徒の理解および適切な指導や教育環境、研修体制の充実を図るための教育的分類です。判断は指導にあたる担任の先生が行ってください。診断の有無は問いません。

・重複はしないでください。重なる部分もあると思いますが、現在学級での指導に重点を置いている方で分類をしてください。

9. ★自閉スペクトラム症（ASD） 【 _____ 】人※1

10. 自閉のうち知的に遅れありの数 【 _____ 】人※2

11. 自閉のうち不登校状態の数 【 _____ 】人※3

※1 「自閉スペクトラム症（ASD）」とは、自閉症、自閉傾向、アスペルガー症候群、高機能自閉、広汎性発達障害（PDD）を含む。自閉スペクトラム障害という概念で統一します。

※2 「知的発達の遅れなし」の基準は、おおむね学年相当の教科学習に参加できる程度とします。

※3 「不登校状態」の基準は、年間欠席30日以上とします。

12. ★ADHD 【 _____ 】人

13. ADHDのうち知的遅れありの数 【 _____ 】人

14. ADHDのうち不登校状態の数 【 _____ 】人

15. ★情緒不安定 【 】人※4

16. 情緒不安定のうち知的遅れあり 【 】人

17. 情緒不安定のうち不登校状態の数 【 】人

※4 「情緒不安定」とは、心因性の行動障害や不安障害が考えられる状態です。選択性かん黙（場面かん黙）、愛着障害、不適応状態等を含みます。

18. ★LD 【 】人

19. LDのうち知的遅れありの数 【 】人

20. LDのうち不登校状態 【 】人

21. その他 【 】人※5

22. その他のうち知的遅れありの数 【 】人

23. その他のうち不登校状態の数 【 】人

※5 単純な知的障害や生活指導上の課題・非行など

24. 自由記述

【 _____ 】

< 「医師から診断されている障害名」別の数 >

25. 自閉症 【 】人

26. ADHD 【 】人

27. LD 【 】人

28. 発達障害に関わる服薬をしている数 【 】人

※該当する薬例 「コンサータ」（メチルフェニデート）・「ビバンセ」（リスデキサメフェタミン）・「ストラテラ」「アクセプタ」（アトモキセチン）・「インチュニブ」（グアンファシン）・「エビリファイ」（アリプラゾール）・「リスパダール」（リスペリドン）

29. 自由記述

【 _____ 】

< 入退級について（前年度） >

30. 年度途中での入級の人数 【 】人

31. 在籍人数が多く、入級待機となったケース 【 ある ・ なし 】

32. 退級の人数（年度末分を含む・卒業生は含まない） 【 】人

33. 退級の理由：課題の改善 【 】人

34. 退級の理由：欠席増 【 】人

35. 退級の理由：辞退 【 】人

36. 退級の理由：本人の希望 【 】人

37. 退級の理由：保護者の希望 【 】人

38. 自由記述

【 _____ 】

→ 【中学級 2/2】の実態調査もあります。ご協力よろしく願いいたします。

【中学級 2/2】令和6年度都情研実態調査 自閉症・情緒障害特別支援学級（中学校・義務教育学校後期）

1. 回答拠点校（ブロック）

東ブロック 北ブロック 南ブロック
多摩南ブロック 多摩北ブロック

2. 自治体名 記入例：〇〇市 〇〇区 〇〇町 〇〇村

【 _____ 】

3. 学校名（記入例：〇〇市立△△小学校） 【 _____ 立 _____ 】

<自閉症・情緒障害特別支援学級担任について>

4. 自閉症・情緒障害特別支援学級担任総数 【 _____ 】人

5. 自閉症・情緒障害特別支援学級担任数：主幹教諭 【 _____ 】人

6. 自閉症・情緒障害特別支援学級担任数：指導教諭 【 _____ 】人

7. 自閉症・情緒障害特別支援学級担任数：主任教諭 【 _____ 】人

8. 自閉症・情緒障害特別支援学級担任数：教諭 【 _____ 】人

9. 代替教員数：産休 【 _____ 】人

10. 代替教員数：その他 【 _____ 】人

11. 自由記述

【 _____ 】

12. 教職経験年数別の人数：0年 【 _____ 】人

13. 教職経験年数別の人数：1～2年 【 _____ 】人

14. 教職経験年数別の人数：3～5年 【 _____ 】人

15. 教職経験年数別の人数：6～9年 【 _____ 】人

16. 教職経験年数別の人数：10～19年 【 _____ 】人

17. 教職経験年数別の人数：20年～ 【 _____ 】人

18. 自由記述

【 _____ 】

- 44. 学活
- 45. 道徳
- 46. 総合
- 47. 自由記述

【 _____ 】

<指導内容>

自立活動で特によく取り上げている内容を4つまで選んで下さい。

- 48. 学習態勢、基本的行動様式
- 49. 言語、コミュニケーション
- 50. 集団参加、社会的行動
- 51. 運動能力（粗大運動・微細運動・協応運動）
- 52. 認知、概念形成
- 53. 自己理解、行動調整
- 54. 将来を見通した基礎学力
- 55. その他
- 56. 自由記述

【 _____ 】

- 57. 主な指導形態 【 学年別 ・ 異学年合同 】

- 58. 自由記述

【 _____ 】

- 59. 学習習熟度

主に国語、数学について学年相応の学習内容が理解できる児童生徒の割合はおよそ何割程度ですか

【 ~2割 ・ 3~4割 ・ 5~6割 ・ 7~8割 ・ 9割~ 】

- 60. 自由記述

【 _____ 】

<交流及び共同学習について>

どの時間に実施していますか。

- 61. 国語
- 62. 数学
- 63. 英語

- 64. 社会
- 65. 理科
- 66. 音楽
- 67. 美術
- 68. 技家
- 69. 保体
- 70. 学活
- 71. 道徳
- 72. 総合
- 73. 行事
- 74. 自由記述

【 _____ 】

- 75. 交流及び共同学習の時間数別人数：週 1 時間未満 【 】人
- 76. 交流及び共同学習の時間数別人数：週 1 時間 【 】人
- 77. 交流及び共同学習の時間数別人数：週 2 時間 【 】人
- 78. 交流及び共同学習の時間数別人数：週 3 時間 【 】人
- 79. 交流及び共同学習の時間数別人数：週 4 時間 【 】人
- 80. 交流及び共同学習の時間数別人数：週 5 時間 【 】人
- 81. 交流及び共同学習の時間数別人数：週 6 ～ 10 時間 【 】人
- 82. 交流及び共同学習の時間数別人数：週 10 時間以上 【 】人
- 83. 自由記述

【 _____ 】

- 84. 学級独自の校外学習 【 ある ・ ない 】
- 85. 学級独自の宿泊学習 【 ある ・ ない 】
- 86. 評価方法と基準を通常学級と統一しているケース 【 ある ・ ない 】
- 87. 自由記述

【 _____ 】

<前年度在籍していた3年生の進路>

88. 全日制（公立） 【 】人

89. 全日制（私立） 【 】人

90. 定時制（うち都立チャレンジ校） 【 】人

91. 定時制（その他） 【 】人

92. 単位制（うち都立エンカレッジ校） 【 】人

93. 単位制（その他） 【 】人

94. 通信制（うちサポート校併用） 【 】人

95. 通信制（その他） 【 】人

96. 高等専修学校 【 】人

97. 特別支援学校 【 】人

98. その他 【 】人

99. 自由記述

【 _____ 】

ご協力、ありがとうございました。